

令和6年11月3日

令和6年秋の叙勲受章者について

在ブラジル日本国大使館
在サンパウロ日本国総領事館
在レシフェ日本国総領事館
在リオデジャネイロ日本国総領事館
在クリチバ日本国総領事館
在ベレン領事事務所
在ポルトアレグレ領事事務所

令和6年秋の叙勲者（ブラジル在住の方）は別紙のとおり決定しました。

（邦人叙勲：2名、外国人：5名）

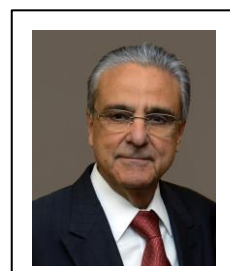
在ブラジル日本国大使館	（外国人1名）
在サンパウロ日本国総領事館	（外国人1名）
在レシフェ日本国総領事館	（邦人1名）
在リオデジャネイロ日本国総領事館	（外国人1名）
在クリチバ日本国総領事館	（外国人1名）
在ベレン領事事務所	（邦人1名）
在ポルトアレグレ領事事務所	（外国人1名）

以上

在ブラジル日本国大使館 推薦叙勲受章者

〈外国人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
ホビソン・ブラガ・デ・アンドラーデ	75歳	ミナス・ジェライス州ノバ・リマ市	旭日重光章	ブラジル
(主要経歴) 前 ブラジル全国工業連盟会長				
(主な功績) アンドラーデ氏は、平成22年から令和5年までブラジル全国工業連盟（CNI）の会長を務め、日ブラジル両国経済界トップ同士の議論をまとめ、両政府への提案や働きかけを行うとともに経済界からの重要なメッセージを発出してきた。 同人は、昭和48年に創設された日・ブラジル経済合同委員会において、ブラジル側主催団体の会長として同委員会の議論をリードするとともに、報告書の取りまとめに尽力し、その内容を何度も政策提言としてまとめた。例えば、直近の第24回委員会では、日本とメルコスールとの経済連携協定締結等を政策提言する「日伯経済関係の推進に向けた共同声明」を発表し、上川外務大臣、西村経済産業大臣に建議している。こうした継続的なハイレベルへの提言を受けて、平成29年以来開催が途絶えていた日・メルコスール経済関係緊密化のための対話が令和6年に再開されるなど、日本とブラジルを含むメルコスール地域との関係強化に貢献した。 さらに、ブラジルにおけるインフラ需要・消費旺盛な中間所得層の台頭等の潜在力を最大限引き出すため、複雑な税制の是正や、労働者を過度に保護する労働法制の改正等のビジネス環境整備について取り上げ、ブラジルでの日本企業によるビジネス拡大に向けて粘り強く取り組んできた。その結果、ブラジル統一労働法改正、複数の消費関連税を統合した付加価値税を創設するための憲法修正等の実現につながっている。 同人のこのような一連の功績により、ブラジルでの日本企業による活動環境は整備されつつあり、日本企業のビジネス機会拡大に多大な貢献を行った。				



在サンパウロ日本国総領事館 推薦叙勲受章者

〈外国人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
タダヨシ・ハナダ	78歳	サンパウロ州カンピーナス市	旭日単光章	ブラジル
(主要経歴) 前 カンピーナス日伯文化協会会長 カンピーナス日本祭り実行委員長				
(主な功績) ハナダ氏は、カンピーナス日伯文化協会会長及びカンピーナス日本祭り実行委員長として、日本祭りを始めとする文化活動に積極的に企画・参加し、若手日系人が主体的に活動するための環境整備に尽力したほか、カンピーナス市と姉妹都市提携を結んでいる岐阜県岐阜市との人的交流・文化交流の支援を通じて、両都市の交流促進に貢献した。平成30年、ブラジル日本人移民110周年を記念し眞子内親王殿下がブラジルを訪問された際には、カンピーナス市と協力し同市立ち寄りの機会の実現に携わり、御訪問の成功に尽力した。 同氏はまた、平成17年にカンピーナス日伯文化協会会長に就任後、同市で初めてとなる日本祭りの開催を企画・実行し、日本祭りを同市の公式行事として認められる程成長させた。それ以来初代カンピーナス日本祭り実行委員長として、パンデミック期間を除き、毎年日本祭りの中心的な役割を果たし、同祭りを成功に導いている。				



在レシフェ日本国総領事館 推薦叙勲受章者

〈邦人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
水島 ロベルト富士雄	70歳	バイア州 サルバドール市	旭日双光章	日本 ブラジル
(主要経歴) 元バイア日伯文化協会連合会会長 元サルバドール日伯文化協会会長 (主な功績) サルバドール日伯文化協会会長を通算15年間務め、平成20年には「日本人ブラジル移住100周年記念」を祝う行事として「サルバドール日本文化祭」を初めて開催した。同行事は、その後も毎年開催され、約8万人の参加者で賑わう大型事業に発展しており、日本文化普及・紹介に大きく貢献している。 また、バイア日伯文化協会連合会会長当時、傘下の団体が世代交代や出稼ぎ等により活動の活性化が困難となったところ、「東北日伯文化協会統合フォーラム」を設立した。右フォーラム設立により、同連合会と傘下団体、更には傘下団体間の関係を強化することに成功した。また、これを契機に傘下団体は往年の活気を取り戻し運動会などの年中行事が各移住地で復活した。				



在リオデジャネイロ日本国総領事館 推薦叙勲受章者

〈外国人叙勲〉

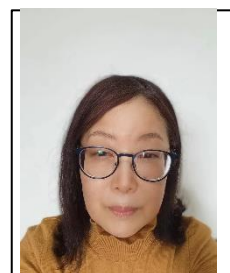
氏名	年齢	住所	勲等	国籍
コウジ・フカサワ	83歳	リオデジャネイロ州 リオデジャネイロ市	旭日双光章	ブラジル
(主要経歴) リオデジャネイロ州日伯文化体育連盟理事長 元リオデジャネイロ日系協会会長 (主な功績) 平成9年から平成11年までリオデジャネイロ日系協会副会長、平成11年から平成13年まで同協会会長、平成13年から令和5年までリオデジャネイロ州日伯文化体育連盟副理事長を務め、令和5年からは同連盟理事長として現在も同団体の活動を牽引している。リオデジャネイロ州内の日系団体を統括する同連盟の理事長として、各団体の参加・協力を得つつ、各種日系イベントを企画・実現し、同州における日系社会の活性化及び日伯両国間の文化交流・友好親善の増進等に大きく貢献した。				



在クリチバ日本国総領事館 推薦叙勲受章者

〈外国人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
キヨミ・マサキ	64歳	パラナ州 クリチバ市	瑞宝単光章	ブラジル
（主要経歴） 元 在クリチバ日本国総領事館現地職員 （主な功績） 同人は昭和35年にパラナ州で生まれ、パラナ連邦大学で森林工学を学び、パラナ州政府機関にて林業技士として務めると、森林科学専攻の修士号も取得して同分野の専門家として活躍していたが、移住者であった父親の影響もあり、徐々に日本への関心を強め、平成7年に在クリチバ日本国総領事館に就職した。以来、約30年にわたり広報文化班員、総領事秘書等としてブラジル南部における我が国の外交活動の展開に大きく貢献し、また、計5回の天皇陛下及び皇室のパラナ州御訪問受け入れに携わり、常に中心的な役割を担った。				



在ベレン領事事務所 推薦叙勲受章者

〈邦人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
生田 勇治	77歳	パラ州 ベレン市	旭日双光章	ブラジル (帰化人)
（主要経歴） 元 汎アマゾン日伯協会会長 元 アマゾン日伯援護協会会長 元 アマゾン病院院長 現 汎アマゾン日伯協会名誉会長 （主な功績） 生田氏は、医師として勤務する傍ら、北伯日系社会を代表する組織である汎アマゾン日伯協会会長及びアマゾン日伯援護協会会長、アマゾン病院院長という要職を歴任し、日系社会の融和発展に尽力した他、日系社会の医療福祉向上に貢献した。 生田氏は平成21年から令和5年まで汎アマゾン日伯協会会長を務め、政府要人との人脈や交渉により、州政府から会場の無料提供や助成等の協力を得て、アマゾン日本人移住80周年（平成21年）、日伯外交関係樹立120周年（平成27年）、日本人ブラジル移住110周年（平成30年）、アマゾン日本人移住90周年（令和元年）という大規模な周年行事を成功に導いた。 アマゾン病院開設当時、医学生であった生田氏は巡回診療活動に従事するようになり、その後長年にわたり病院へ行くことが困難な遠隔地の日本人移住者を支えて来た。また、アマゾン病院院長、アマゾン日伯援護協会会長を務め、病院施設の拡充により医療の質の向上に貢献した。 生田氏は文部科学省国費留学生及びJICA研修生として日本に留学しており、OBで組織されるパラ州日本ブラジル留学生同窓会の会長として、制度の広報や留学生へのオリエンテーションを通じ、優秀な候補者の発掘にも尽力した。				



在ポルトアレグレ領事事務所 推薦叙勲受章者

〈外国人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
ジャウロ・ドゥアルテ・フォン・ゲーレン	79歳	リオ・グランデ・ド・スール州 ポルトアレグレ市	瑞宝中綬章	ブラジル

（主要経歴）

現 在ポルトアレグレ領事事務所 顧問弁護士

現 ジャウロ・ドゥアルテ・ゲーレン&アソシエーツ法律事務所 弁護士

元 リオ・グランデ・ド・スール州裁判所 判事

（主な功績）

ジャウロ・ドゥアルテ・フォン・ゲーレン氏は、平成11年4月1日から現在に至るまで、在ポルトアレグレ日本国総領事館、在ポルトアレグレ出張駐在官事務所、さらに在ポルトアレグレ領事事務所の顧問弁護士として、連続25年にわたり務めてきている。

同氏は、ブラジルの法律とウィーン条約特権条項に則り、法務経験を活かして、各種の個別案件に対して最善な選択肢を提案越すと共に、数々の調査に対しても迅速かつ適切に回答する等、顧問弁護士として、法律面で強力かつ信頼のおけるサポートを提供してきており、この度「日本国在外公館活動に寄与」した功績により、瑞宝中綬章を受章することになった。

